

キヤノンオプトロン株式会社
 整理番号: S18
 化学品名: S5F

安全データシート

rev. 5.9 作成 2013/10/15
 改訂 2018/6/4

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	S5F
SDS整理番号	S18
会社名称	キヤノンオプトロン株式会社
住所	〒307-0015 茨城県結城市鹿窪1744-1
担当部門	内部統制推進課
電話番号	0296-21-3700(営業部)
FAX番号	0296-21-3770
緊急連絡電話番号	0296-21-3700(営業部)
推奨用途及び使用上の制限	真空蒸着用材料

2. 危険有害性の要約

GHS分類 (JIS Z 7252「GHSに基づく化学物質等の分類方法」による分類)

物理化学的危険性	爆発物	分類できない	
	可燃性又は引火性ガス(化学的に不安定なガスを含む)	分類対象外	
	エアゾール	分類対象外	
	支燃性又は酸化性ガス	分類対象外	
	高压ガス	分類対象外	
	引火性液体	分類対象外	
	可燃性固体	分類できない	
	自己反応性化学品	分類できない	
	自然発火性液体	分類対象外	
	自然発火性固体	分類できない	
	自己発熱性化学品	分類できない	
	水反応可燃性化学品	分類できない	
	酸化性液体	分類対象外	
	酸化性固体	分類できない	
	有機過酸化物	分類できない	
	金属腐食性物質	分類できない	
	健康に対する有害性	急性毒性(経口)	分類できない
		急性毒性(経皮)	分類できない
		急性毒性(吸入)	分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		分類できない	
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		分類できない	
呼吸器感作性		分類できない	
皮膚感作性		分類できない	
生殖細胞変異原性		分類できない	
発がん性		区分1A	
生殖毒性		分類できない	
生殖毒性・授乳に対する又は授乳を介した影響		分類できない	
環境に対する有害性	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1	
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1	
	吸引性呼吸器有害性	分類できない	
	水生環境有害性(急性)	分類できない	
	水生環境有害性(長期間)	分類できない	
	オゾン層への有害性	分類できない	

安全データシート

rev. 5.9 作成 2013/10/15
 改訂 2018/6/4

ラベル要素

絵表示(シンボル)

健康有害性



注意喚起語

危険

危険有害性情報

発がんのおそれ
 臓器の障害
 長期にわたる、又は反復ばく露により臓器の障害

注意書き

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 取扱い後は手を良く洗うこと。
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること

【応急措置】

ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡する事。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。
 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
 特別な措置が必要である。(緊急の解毒剤の投与が必要な場合)

【保管(貯蔵)】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名

二酸化ケイ素(石英)	三酸化ニアルミニウム
------------	------------

化学式

SiO ₂ (石英)	Al ₂ O ₃
-----------------------	--------------------------------

CAS No.

14808-60-7	1344-28-1
------------	-----------

濃度又は濃度範囲

二酸化ケイ素(結晶)と三酸化ニアルミニウムの混合物として99.9%以上

官報公示整理番号(化審法)

1-548	1-23
-------	------

(安衛法)

-	-
---	---

放射性情報

材料として放射性物質を使用していない。このため、電離性放射線が生じる根拠が存在しない。

4. 応急措置

吸入した場合

直ちに被災者を空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと/取り除くこと。
 多量の水および石鹸で15分以上洗い流す。水泡、痛みなどの症状が出た場合には、必要に応じて医師の診断を受けること。

目に入った場合

直ちに清浄な水で15分以上洗眼すること。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していないかぎり、取り除いて洗浄すること。
 必ず医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合

直ちに口をすすぐこと。
 必ず医師の診断を受けること。

安全データシート

rev. 5.9 作成 2013/10/15
 改訂 2018/6/4

応急措置をする者の保護

救助者は保護眼鏡、保護手袋などの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤	この製品自体は燃焼しない。
使ってはならない消火剤	データなし
特有の危険有害性	データなし
特有の消化方法	周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
消火を行なう者の保護	消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業の際には保護具(製品の性状に適したものを指定する)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉じん、ガスを吸入しないようにする。
環境に対する注意事項	漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	漏出したものをすくいとり、または掃き集めて紙袋またはドラム缶に回収する。回収後の少量の残留物分は土砂またはおがくず等に吸収させる。
二次災害の防止策	データなし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
安全取扱い注意事項	取扱う場合は、局所排気下、または全体換気の設備のある場所で取扱う。
保管	
安全な保管条件	通気の良い場所で容器を密閉し保管する。
安全な容器包装材料	データなし

8. ばく露防止及び保護措置

	<u>SiO₂(石英)</u>	<u>Al₂O₃</u>
管理濃度	設定されていない	設定されていない
許容濃度		
日本産業衛生学会	(含有率3%未満が対象) 第2種粉塵 吸入性粉塵1mg/m ³ 総粉塵 4mg/m ³ (2017年版)	第1種粉塵 吸入性粉塵0.5mg/m ³ 総粉塵 2mg/m ³ (2017年版)
ACGIH	TWA 0.025 mg/m ³ (2006年版)	TLV-TWA 10mg/m ³ (アスベスト不含、結晶シリカ1%未満の微粒子) (2005年版)
設備対策	できるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。	
保護具		
呼吸器保護具	防塵マスク	
手の保護具	保護手袋	
眼の保護具	防塵眼鏡	
皮膚及び身体の保護具	保護衣服	

9. 物理的及び化学的性質

外観	
物理的状态	固体
形状	ペレット、顆粒状
色	白色

安全データシート

rev. 5.9 作成 2013/10/15
 改訂 2018/6/4

臭い

なし

pH

融点・凝固点

沸点、初留点及び沸騰範囲

引火点

蒸発速度

燃焼性(固体、気体)

爆発範囲

下限

上限

蒸気圧

蒸気密度(空気=1)

比重(相対密度)

(密度)

溶解度

水

その他の溶媒

n-オクタノール／水分配係数

自然発火温度

分解温度

粘度(粘性率)

その他のデータ

SiO₂(石英)Al₂O₃

データなし	データなし
1610°C	2072°C
2230°C	2980°C
不燃性	不燃性
データなし	非該当
データなし	不燃性

データなし	データなし
データなし	データなし
10mmHg (1732°C) [換算値 1333Pa(1732°C)]	0.073Pa (mp.)
データなし	データなし
2.5	3.97

※S5Fとして、1.3~1.9(ペレット)

不溶	不溶
データなし	非極性有機溶媒に僅溶
データなし	データなし
不燃性	不燃性
データなし	データなし
データなし	データなし
なし	なし

10. 反応性及び安定性

反応性

化学的安定性

危険有害反応可能性

避けるべき条件

混触危険物質

危険有害分解生成物

SiO₂(石英)Al₂O₃

データなし	データなし
通常取り扱い条件(常温)では安定。	安定である。
強酸化剤と反応し、火災や爆発の危険をもたらす。 フッ化水素と反応する。	ほとんどなし。
粉じんの拡散	粉じんの発生、拡散。
強酸化剤、フッ化水素	なし
なし	なし

11. 有害性情報

急性毒性(経口)

急性毒性(経皮)

急性毒性(吸入)

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

呼吸器感受性又は皮膚感受性

生殖細胞変異原性

SiO₂(石英)Al₂O₃

データなし	経口 ラット LD50 >5000mg/kg
データなし	データなし
データなし	マウス LD50: >3,600mg/kg(腹腔内)
データなし	データなし
データなし	データなし
データなし	データなし
染色体異常試験で陰性、小核試験で陽性の知見がある。	変異原性試験が実施されておらず、変異原性試験においてもエームズ試験(陰性)のみであり、データ不足により分類できないとした。

安全データシート

rev. 5.9 作成 2013/10/15
改訂 2018/6/4

発がん性	IARC: 1 ヒトに対して発がん性がある。 NTP: K ヒトに対して発がん性があることが知られている物質	ACGIHはグループA4(ヒト発がん性に分類できない物質)に分類している。
生殖毒性	データなし	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	反復ばく露に比べるとデータが大幅に少ないが、ヒトにおいて短期ばく露でも吸入濃度が高い場合は呼吸器系に影響を及ぼすとの記述がある。	呼吸器への刺激のおそれ
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	Priority 1文書に、ヒトにおいて呼吸器系、腎臓に影響を及ぼすとの記述がある。	TLV-TWA 10mg/m ³ (アスベスト不含、結晶シリカ1%未満の微粒子) (2005年版)
吸引性呼吸器有害性	データなし	TLV-TWA 10mg/m ³ (アスベスト不含、結晶シリカ1%未満の微粒子) (2005年版)
その他	なし	

12. 環境影響情報

	<u>SiO₂(石英)</u>	<u>Al₂O₃</u>
生態毒性		
魚類	データなし	データなし
甲殻類	データなし	データなし
藻類	データなし	データなし
その他の生物	データなし	データなし
残留性・分解性	データなし	データなし
生体蓄積性	データなし	データなし
土壤中の移動性	データなし	データなし
オゾン層への有害性	データなし	データなし
その他	データなし	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならび自治体の基準に従って適切な処分を行なう。

14. 輸送上の注意

	<u>SiO₂(石英)</u>	<u>Al₂O₃</u>
国際規則		
国連分類	データなし	該当なし
国連番号	該当なし	なし
国連輸送名	なし	なし
容器等級	データなし	該当なし
国内規則	陸上規制情報 非該当 海上規制情報 非危険物 航空規制情報 非危険物	陸上規制情報 規制なし 海上規制情報 非危険物 航空規制情報 非危険物
輸送の特定の安全対策及び条件	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に進行。 重量物を上積みしない。	輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に進行。
緊急時応急措置指針番号	なし	なし

安全データシート

rev. 5.9 作成 2013/10/15
 改訂 2018/6/4

15.適用法令

	<u>SiO₂(石英)</u>	<u>Al₂O₃</u>
PRTR法	なし	なし
労働安全衛生法	結晶質シリカ 名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第57条第1項、施行令第18条第1号、 第2号別表第9) 165の2 ※適用条件: 0. 1重量%以上を含有する 製剤その他の物(安衛則第30条・別表第 2)。運搬・貯蔵中に固体以外の状態になら ず、かつ、粉状にならない物であって、令別 表第一に掲げる危険物、可燃性の物等爆発 又は火災の原因となるおそれのある物並び に皮膚に対して腐食の危険を生じるものでな いものを除く。 名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2、施行令第18条の2第1号、 第2号別表第9) 165の2 ※適用条件: 0. 1重量%以上を含有する 製剤その他の物(施行令第18条の2第2 号、安衛則第34条の2別表第2)	酸化アルミニウム 名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2、施行令第18条の2第1号、 第2号別表第9) 189 ※適用条件: 1重量%以上を含有する製 剤その他の物(施行令第18条の2第2号、 安衛則第34条の2別表第2 名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第57条第1項、施行令第18条第1号、 第2号別表第9) 189 ※適用条件: 1重量%以上を含有する製 剤その他の物(安衛則第30条・別表第2)。 運搬・貯蔵中に固体以外の状態にならず、 かつ、粉状にならない物であって、令別表第 一に掲げる危険物、可燃性の物等爆発又は 火災の原因となるおそれのある物並びに皮 膚に対して腐食の危険を生じるものでないも のを除く。
毒物劇物取締法	なし	なし
火薬類取締法	なし	なし
高圧ガス保安法	なし	なし
消防法	なし	なし
化審法	なし	なし
船舶安全法	なし	なし
航空法	なし	なし
海洋汚染防止法	なし	なし
じん肺法	シリカ 法第2条、施行規則第2条別表粉じん作業 ※適用条件: 粉じん	アルミナ 法第2条、施行規則第2条別表粉じん作業 ※適用条件: 粉じん
その他	海洋汚染防止法 二酸化けい素 有害でない物質(施行令別表第1の2) 13	水質汚濁防止法 アルミニウム及びその化合物 指定物質(法第2条第4項、施行令第3条 の3) 44 水道法 アルミニウム及びその化合物 有害物質(法第4条第2項)、水質基準 (平15省令101号) 33

16.その他の情報

本安全データシート(SDS)は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂される
 ことがあります。また、SDS中の注意事項は、通常の取扱いを対象にしたものです。

製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用してください。
 また、当社は、SDS記載内容について充分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。

引用文献

キヤノンオプトロン株式会社
整理番号: S18
化学品名: S5F

安全データシート

rev. 5.9 作成 2013/10/15
改訂 2018/6/4

【文献】

労働安全衛生法MSDS対象物質全データ: 化学工業日報社(2003)
毒物及び劇物取締法MSDS対象物質全データ: 化学工業日報社(2003)
化学物質管理促進法MSDS対象物質全データ: 化学工業日報社(2003)
許容濃度等の勧告(2017年度): 日本産業衛生学会 産業衛生学雑誌 59 巻 2017

【WEBサイト】

独立行政法人 製品技術評価機構ホームページ
安全衛生情報センターホームページ
厚生労働省ホームページ

【法規制調査ツール】

ezCRIC (日本ケミカルデータベース社)